



綿打小通信 平成28年7月5日発行

わたうち

No. 4



6月3日(金)にプール開きがあり、梅雨入りでしばらくプールに入れない日もありますが、天気の良い日にはプールから元気な声が2階の校長室まで届いています。6月もたくさんの行事や教育活動がありました。校外学習など地域学習の様子は学年だよりなどでお伝えしておりますが、ここでもいくつか紹介いたします。

JRC登録式

6月1日(水)、青少年赤十字(JRC)登録式が行われました。新しく1年生が加わり、全校児童がメンバーとしてJRCの活動にかかわっていきます。

JRCでは、「健康・安全」「奉仕」「国際理解・親善」の3つの実践目標と主体性を育むために「気づき」「考え」「実行する」という態度目標を掲げています。



学級代表による登録証署名

6年 修学旅行

6月8日(水)・9日(木)、1泊2日で6年生が修学旅行に行ってきました。

1日目は、北鎌倉の円覚寺から鶴岡八幡宮を経て高德院(鎌倉大仏前)まで、グループで散策しました。途中、小町通りを抜け江ノ電にも乗り、自分たちで計画を立てた予定のコースを歩きました。



高德院(鎌倉)



国会議事堂

2日目は、東京国立博物館、国立科学博物館、国立西洋美術館を見学し、上野公園で昼食をとり、国会議事堂内(参議院)を見学しました。行動するときは、心配された雨にも降られず、6年生としてのよき思い出づくりもできました。



ホテルロビー(新横浜)

交通安全教室・自転車教室

6月14日(火)交通安全教室を実施しました。交通事故未然防止のために1・2年生は、実際の道路で歩行訓練を行い、3・4年生は、自転車の正しい乗り方の実技指導、5・6年生は、自転車の正しい乗り方についてDVD



視聴を通して学びました。講師として、太田警察署員、交通指導員、スクールガードリーダー、太田市交通政策課の方々にお世話になりました。

登下校時だけでなく、下校後や休日でも外出時は交通ルールを守り、交通事故に絶対に遭わないように、「自分の身は自分で守る」行動を徹底することを学びました。

音楽集会

6月22日（水）朝、児童会活動による音楽集会が行われました。3年生と6年生による学年発表と全校児童による歌がありました。3年生は、初めて習ったリコーダーを交えて元気に歌を歌いました。6年生は、「翼をください」で、きれいな歌声を披露しました。また、全校で今月の歌「すてきな友達」を歌いました。体育館中に元気で澄んだ歌声やリコーダーの音が響き渡り、朝からさわやかな気分になりました。



3年「とどけよう この夢を」



6年「翼をください」

特別支援学級合同宿泊学習

6月30日（木）・7月1日（金）、東毛青少年自然の家で太田市小学校特別支援学級合同宿泊学習が行われました。本校からも3名の児童が参加しました。

各校ごとにあいさつをした後に入校式が行われ、午後は、登山や周辺散策、夕食後に合同レクリエーションがありました。レクでは、キャンドルファイヤーもあり、ゆらめく炎の美しさを楽しんだようです。2日目は、高学年の児童が先生方と一緒にカレーを作り、お昼にみんなでおいしくいただきました。

他校の児童と交流し一緒に過ごした2日間は、それまでの準備の時間とともに将来の自立につながる貴重な体験となり、やり遂げることへの自信となりました。



学校保健委員会

6月30日（木）、第1回学校保健委員会が開かれました。学校保健・学校安全に関する事業を推進するとともに学校保健上の諸問題について研究協議や連絡調整を図り、学校教育の向上に資することを目的としています。組織は、学校医・薬剤師、PTA（会長、厚生部員）、学校職員で構成され、必要に応じて地域関係者や児童代表等が参加します。

養護教諭から定期健康診断結果と今年度の学校保健にかかわる取組の報告があり、「綿っ子の健康課題から解決に向けて」と題して意見交換を行いました。学校医や薬剤師の方々からは、食中毒の予防や乗り物酔いの原因と緩和、生活習慣（朝起きられない原因）、熱中症対策、インプラント治療等についてお話をいただきました。栄養士からは、健康な食生活と家族そろっての食事の大切さについて話がありました。子どもたちの健康と安全のために有意義な協議がなされました。



児童保健委員会 教室訪問
「上手な歯の磨き方」

～夏休みを迎える前に～

7月21日（木）～8月31日（水）の42日間、長期の夏季休業日となります。有意義な夏休みを過ごすために、規則正しい生活や宿題・課題・自由研究、交通安全、非行防止などについて、各学年や学級で指導したり児童自ら計画を立てたりします。ご家庭でも、1日の生活の仕方や約束をお子さんと一緒に考え、家庭学習や読書の習慣化、家族の一員としてのお手伝い、地域行事への参加、事故・事件の未然防止などについて話し合ってみましょう。